

レ・ミゼラブル

観賞日 2023年4月24日 上映時間 158分

【概要】

制作 2012年 イギリス・アメリカ
監督 トム・フーパー
原作 ヴィクトル・ユゴー
脚本 ウィリアム・ニコルソン他
音楽 クロード=ミシェル・シェーンベルク
撮影 ダニー・コーエン
出演 ヒュー・ジャックマン (ジャン・バルジャン)、ラッセル・クロウ (ジャベール)
アン・ハサウェイ (ファンテーヌ)、アマンダ・サイフリッド (コゼット)
エディ・レッドメイン (マリウス・ポンメルシー)、サマンサ・バークス (エポニーヌ)



【あらすじ】

1815年フランスの刑務所。たった1つのパンを盗んだ罪で19年もの間牢獄に繋がれていた男ジャン・バルジャンにようやく仮釈放が下る。しかし、外の世界の風は冷たく、ジャンは教会の銀の食器を盗んでしまう。危うく逮捕されるところを司教の救いの手で逮捕を免れたジャンは自らを恥じ入り、正しい人間に生まれ変わることを誓う。

8年後(1823年)モントルイエ。マドレーヌと名を変えたジャンは市長になっていた。ある日、警察署にジャベールが現われる。ジャベールはジャンがいた刑務所の刑務官であった男。ジャンの工場で働くファンテーヌは娘コゼットを養育するためやむなく髪を売り娼婦に身を墮とす。ジャンは罪滅ぼしに死の間際のファンテーヌにコゼットは責任をもって育てると約束して、コゼットとともに逃亡する。再び、罪人となったジャンにジャベールの執拗な追跡が再開される。

9年後(1832年)パリ。王政打倒を目指す青年、マリウス。マリウスは美しく成長したコゼットに恋をする。恋か革命か、悩むマリウス。いよいよ決行の日。民衆の支持を得られなかった革命は失敗し青年たちは討ち死にする。ジャンは瀕死のマリウスを救出しコゼットのもとに運ぶ。老境にさしかかったジャンはマリウスにコゼットを託して・・・。

【解説】

■ポイント

●制作経緯

- ・原作：1862年発刊のヴィクトル・ユゴーの小説
- ・ミュージカル：原作をもとに1985年初演
- ・映画(本作)：上記ミュージカルの映画化

●レ・ミゼラブルの時代背景(1815年~1833年)

当時のフランスはフランス革命、ナポレオン戦争、ウィーン会議を経て、一時的に王政が復活していた時代(復古王政)

●受賞(2013年第85回アカデミー賞)

7部門にノミネートされ、下記3部門で受賞

助演女優賞(アン・ハサウェイ)、メイクアップ&ヘアスタイリング賞、録音賞

■見どころ

- 宿敵：逃げるジャンと執拗に追うジャベール、それでも危機のジャベールを救うジャン
- 悔い改めたジャンはキリストの生まれ変わり？
- エンドロールでも大合唱される「民衆の歌」